

唐箕体験と油搾りを行いました

環境学習の一環として、7月5日小牧市光ヶ丘小学校3年生60名、7月12日小牧市小木小学校3年生47名の児童が、昨年秋に種まきした菜の花を今年の春に刈り取り、乾燥して保管しておいた菜種を唐箕にかけてゴミを取り除いた後、油搾りを行いました。その油は今年の修学旅行で児童が法隆寺に奉納する予定です。毎年行っている行事の一つで自然の菜種油は貴重で不要のガスが出なく環境にやさしく法隆寺では燈明に使用しています。児童がドーナツづくりをしておいしく食べてよい体験をしました。初めて唐箕をみる児童たちが多く珍しそうに、見て触って体験して楽しんでいました。

光ヶ丘小学校



女性の会の方たちより昔使っていた杵の説明を聞く児童たち



はじめて触る唐箕を楽しそうに体験



唐箕で分類し菜種だけを油搾り機にかけ
る児童たち



女性の会の皆さんの指導でドーナツ作り



熱いから気をつけて！油に投入



おいしそうに食べる児童

小木小学校



女性の会の方たちより昔使っていた杵の
説明や刈り取りなどを聞く児童たち



はじめて触る唐箕を楽しそうに体験・昔
の様子を聞く児童



唐箕で分類し菜種だけを油搾り機にかけ
たり初めての体験でなめて甘いと感じを
言う児童たち



女性の会の皆さんの指導でドーナツ作り
校長先生の方も忘れず！



熱いから気をつけて！ドキドキしながら
油に投入



熱いから気をつけてね、おいしそうに食
べる児童

両校の児童とも最後に女性の会の
皆さんにお礼と質問をして1時間
の環境学修学習を終わりました。



質問をする児童



さいごにお礼をする児童